

中国宗教界和平委員会による フラッグシッププロジェクト



International Seminar on Interfaith Exchanges and Shared Future for Mankind

2019年12月10日～13日

中国／北京

12月10日～12日まで中国（北京）で開催されたアジア宗教者平和会議 中国委員会による“International Seminar on Interfaith Exchanges and Shared Future for Mankind”（諸宗教による交流と人類のつながりあう未来のための国際セミナー）に参加しました。

環境問題への取り組みはアジア宗教者平和会議が掲げるフラッグシッププロジェクトの一つです。このプロジェクトは近年、世界各国で温暖化などの影響により各国で大きな被害が続いている為、中国宗教界和平委員会（CCRP）がイニシアチブを取っています。

今年のセミナーにはアジア太平洋地域、ヨーロッパ、北米 10 か国から 13 名、中国国内から 17 名が参加しました。なお、セミナーには諸宗教リーダーの他に専門家や学者が参加し、宗教間対話を通じて、当セミナーのテーマに基づいた自身の体験や世界平和を促進するための役割について話し合われました。

中国は 1994 年にアジア宗教者平和会議に加盟し、以後アジア太平洋地域の平和的発展のために尽力している委員会です。今回、中国宗教界和平委員会が主催するセミナーに ACRP 事務総長の根本信博と、事務局員の出射見奈子の 2 名が参加しました。

セミナーの行程は以下の通り行われました。

12月10日（火）	
18：00-20：00	歓迎夕食会
12月11日（水）	
午前	開会式 総会 1 “Religion and Ecological Civilization”（宗教とエコ文明） 総会 2 “Cultural Value and Religion”（文化的価値と宗教）
午後	総会 3 “Religion and Social Harmony”（宗教と社会的調和） 閉会式 Chinese People's Political Consultative Conference（CPPCC） 中国人民政治協商會議代表者と面会
終日	諸宗教施設訪問 ・ Guangji Temple、Beitang Catholic Church 訪問 ・ CPPCC メンバーと面会、昼食会
12月13日（木）	
午前	Chaoyang Christian Church、Xisi Islamic Mosque 訪問

12月10日セミナー開始に先立ち、歓迎夕食会が行われました。歓迎のご挨拶は中国宗教界和平委員会副会長の Mr. Deng Zongliang でした。Mr. Deng はセミナー参加への感謝を述べると共に、諸宗教リーダーが一堂に会して平和のために出来ることを話し合うことは大変名誉なことであるとお話しされました。また、異なる宗教、異なる文化を持つ者同士が対話を促進することの重要性を提唱していく義務があると訴えました。更に、様々な誤解や困難が生じて、互いに恩義や友情を忘れず、持続する美しい未来のための為に手を取り合っていくことが大切だと述べられました。

＜12月11日総会 ～3つのテーマから見える宗教リーダーの役割～＞

このセミナーのメインである総会では、3つのテーマについて話し合いました。初めに話し合ったテーマは“Religious and Ecological Civilization”です。現在世界は危機的な状況を迎えていることから、6名のパネリストが自国で起きている環境問題について発表し、私たちに課せられている課題について話し合いました。私たちは「Cry of the earth=地球の嘆き」を聞くだけでなく、この地球に住む貧困層の人々の声も聴くことが大切であることを学びました。貧困と環境問題は別問題のように捉えられることがありますが、実際は密接に繋がっていることが分かりました。また、宗教リーダーの責任として、国レベル、地域レベルでのリーダーシップが必要であることも話し合われました。

◆ 総会1 “Religions and Ecological Civilization” パネリスト一覧

1. Prof. Desmond Philip Cahill (アジア宗教者平和会議副議長、Religions for Peace オーストラリア委員会会長)
 2. Ven Li Guangfu (中国道教協会副会長)
 3. Dr. Biman Chandra Barua (ダッカ大学パーリ学仏教文化学教授及び前任会長)
 4. Dr. Philip Kuntjoro Widjaja (アジア宗教者平和会議執行委員、インドネシア Religious and Culture 協会事務総長)
 5. Ven. Dr. Madihe Sugathasiri Thero (コロンボ大学講師)
 6. Mr. Ma Zhongping (中国宗教界和平委員会副会長、中国イスラム協会事務総長)
- ※ 議長：Mr. Deng Zongliang (中国宗教界和平委員会副会長)





次に話し合われたテーマは“Cultural Value and Religion“です。健全な社会を確立するには健全な宗教が必要です。美しい社会、美しい自然環境を持続するための宗教リーダーの役割は非常に大きいものであることを理解し合いました。また、それらの問題に対応するために、地元、地域、国家レベルで質の高い宗教リーダーが必要であることも確認しました。

◆ 総会 2 “Cultural Value and Religion” パネリスト一覧

1. Ven. Sukomal Barua (RfP バングラデシュ委員会会長)
2. Prof. Xu Yihua (中国宗教界和平委員会メンバー、復旦大学国際関係学科教授)
3. Mrs. Pascale Fremond (RfP カナダ委員会会長)
4. Dr. Maeng Kang-Hyun (韓国儒教総本山理事)
5. Ms. Shafiq Ahme (RfP パキスタン委員会メンバー)
6. Rev. Archbishop Ma Yinglin (中国宗教界和平委員会副会長、司教会議中国カトリック教会会長)

※ 議長：Mr. Deng Zongliang (中国宗教界和平委員会副会長)



最後に話し合われたテーマは“Religion and Social Harmony”です。宗教の役割は社会的調和と社会的結束を促進する果たすことです。近年起きているテロ事件などを通して、宗教は世界的に否定的なイメージを持たれていますが、その否定的イメージを払拭するためには諸宗教リーダーの力と協力が必要であることを学びました。特に、少数派や貧困に苦しむ人々に手を差し伸べることも大切であることが再確認されました。頻発する干ばつ、砂漠化、スーパー台風、豪雨などの増加している災害は、人々の生活に大きく影響し、やむなく住み慣れた土地からの移動を強いられたり、食糧危機招く原因にもなっています。日本ユニセフ協会の発表によると、食糧危機や水不足などから資源の取り合いで紛争に結びつく危険もあります。宗教と宗教指導者には特別な役割があり、宗教コミュニティは、人々が上記で挙げた災害を克服する上で大きな役割を果たすことができることを確認しました。

◆ 総会 3 “Religion and Social Harmony” パネリスト一覧

1. Mr. Mamade Essan Secundar (RfP ベルギー委員会会長)
 2. Rev. Wu Wei (中国宗教界和平委員会副会長、中国基督教協会会長)
 3. Mr. Muhammmad Hanif Khan (RfP パキスタン委員会メンバー)
 4. Rev. Nobuhiro Nemoto (アジア宗教者平和会議事務総長)
 5. Ven. NY Sokpanha (カンボジアサンガ最高評議会メンバー)
 6. Ven. Puzheng (中国宗教界和平委員会副事務総長、中国仏教協会事務総長)
- ※ 議長: Imam Yang Faming (中国宗教界和平委員会副会長、中国イスラム協会会長)



<総括>

今回話し合われた事は、世界で共通して起こっている問題であり、全人類が解決することを共通して望んでいることです。自国で起こっている事例はその国だけの問題ではなく、私たち一人ひとりの生活に置き換えることが出来る内容でした。世界共通で使われる言葉として“Global Village”がありますが、私たちは住む国が違っていても、同じ地球に住んでいることを忘れてはいけません。

組織間、国家間の信頼関係は”Face to Face, People to People”（人と人の信頼関係）から始まるものであることを改めて認識する機会となりました。地球環境問題の解決も人と人の信頼関係が成り立ってこそ可能になるのではないのでしょうか。

また、世界に目を向けると宗教リーダーの存在が非常に大きいことが分かりました。グローバルレベルで結集したアイデアを、国、地域レベルに落とし込み、一人ひとりが出来る環境保護を行うことが大切であることを学びました。

政治の力で宗教を動かすのではなく、政治と宗教が相互理解を果たし、互いに支え合えるような環境作りが必要であると思います。

中国宗教界和平委員会は、このような国際的な提唱プロジェクトのイニチアチブを取ることで、ACRP の掲げる 4 つ目のフラッグシッププロジェクトを推進する上で大きな役割を果たされています。

文責：アジア宗教者平和会議 東京事務局
出射見奈子